



# 千葉動力車労働組合

## 始終に對立、交渉で乗勤 を緩和の仕業の乗務員

## 貨物会社

貨物会社の乗勤・乗務割交  
番作成規程改悪に対する改善に  
むけた動労総連合申第十二号  
(日刊No.四八二七号既報)交渉  
は、七月三十日と八月四日の二  
回にわたって、貨物本社にて行  
なわれた。申第十二号は、「行  
き先地の時間(「待ち合わせ時  
間」)は労働時間とすること」  
「動力車乗務員の労働時間を1  
日あたり6時間40分とし、その  
範囲内で交番作成すること」と  
いう就業規則改善の二つの要求  
を柱に、乗務割交番作成規程の  
改善、災害時等輸送混乱時にお  
ける動力車乗務員の勤務の基準  
の要求、さらに高齢者対策の要  
求など、貨物協議会で検討した  
貨物乗務員にとって切実な問題  
を取り上げた。

### 貨物乗務の特殊性による 深夜乗務、長時間・長距離 乗務の軽減を

貨物の乗務員の特殊性は、そ  
の輸送形態に応じて、深夜乗務  
長時間・長距離乗務が多いこと  
があげられる。また貨物列車の  
本数に制約があることから、行  
き先地での時間が不規則となり、  
場合によっては長時間の「待ち  
合わせ時間」が発生する。した  
がって「待ち合わせ時間」を労  
働時間としないで所定の労働時  
間を確保するため、拘束時間が  
長時間となることが多い。こう  
した貨物乗務の問題点の改善は、  
乗務員にとって切実な問題となっ  
ている。

貨物会社は、九四年に「待ち  
合わせ時間」を労働時間から除  
外する乗勤の改悪を行なった。  
これは当時から表面化しはじめ  
た乗務員不足を解消することが  
狙いであった。

そして今回貨物会社が提案し  
た内容も、「便乗及び段落し運  
用をなくし」とあるように、乗  
務効率を高め、乗務員不足を少  
しも補うところに狙いがある。  
しかも新フレイト21・貨物六千  
人体制にむけて、今後ますます  
乗務員が逼迫していくなかで、  
基地統廃合も視野に入れて、今  
回の改悪が計画されている。

### 交渉は對立のまま終始 「待ち合わせ時間」を 労働時間として扱え

二回にわたる交渉は、基本的  
に對立のまま終始した。  
『行き先地の時間は労働時間と  
すること』

待ち合わせ時間としていた  
時間を労働時間とする考え  
はない。

『動力車乗務員の労働時間を1  
日あたり6時間40分とし、その  
範囲内で交番作成すること』

当社では、動力車乗務員の  
一日平均労働時間を7時間  
としており、これを改める  
考えはない。また、当社の  
現状を考慮した場合、乗務  
割交番作成の際の一日平均

労働時間は現行どおりとす  
るが、7時間を超えないよ  
うに努力していく。

会社は「貨物乗務の特殊性」  
を認めつつも、それを逆手にとっ  
て現行の勤務制度の維持に汲々  
とした。また乗務割交番作成規  
程の改善についても、これが即  
乗務員の要員増に結びつくこと  
から頑なな態度に終始した。

### 災害時の勤務のあり方と 高齢者対策の早急な確立を

『災害時等輸送混乱時における  
動力車乗務員の勤務について、  
安全と適切な労働条件を確保す  
るためには、一定の基準を設け  
る必要があると言え、会社  
の考え方を具体的に明らかにさ  
りたい。』

所定に復するため、災害  
の発生場所や規模に応じて  
臨機応変に対応していくこ  
とが必要である。このため  
、災害時等輸送混乱時にお  
いて動力車乗務員の勤務に  
一定の基準を設けることは  
考えていない。

『社員の年齢構成に鑑み、早急  
に動力車乗務員の高齢者対策  
を講ずること。』

動力車乗務員の高齢者対策  
については、現段階では考  
えていない。

勤務制度改正による諸元の変化(推定)

1	一人一日乗務時間	.....	+3分
2	一人一日労働時間	.....	±0分
3	一人一日乗務キロ	.....	+1.9%
4	乗務率	.....	+0.6%
5	要員数	.....	△25名

※ 一人一日乗務時間、一人一日乗務キロ、乗務率が增加したのは、  
段落し及び便乗の減少によるものである。



このように交渉は對立したま  
ま終始したが、新フレイト21・  
六千人体制の進展は、否応なく  
乗務員の労働強化と基地統廃合  
を不可避としている。しかし一  
方で『六十歳まで働くことので  
きる労働条件の確立』が、いま  
こそ求められているときはない。  
貨物会社の乗勤改悪、乗務員  
の労働強化を許さず、新フレイ  
ト21・六千人体制阻止へ全力で  
闘いぬこう。